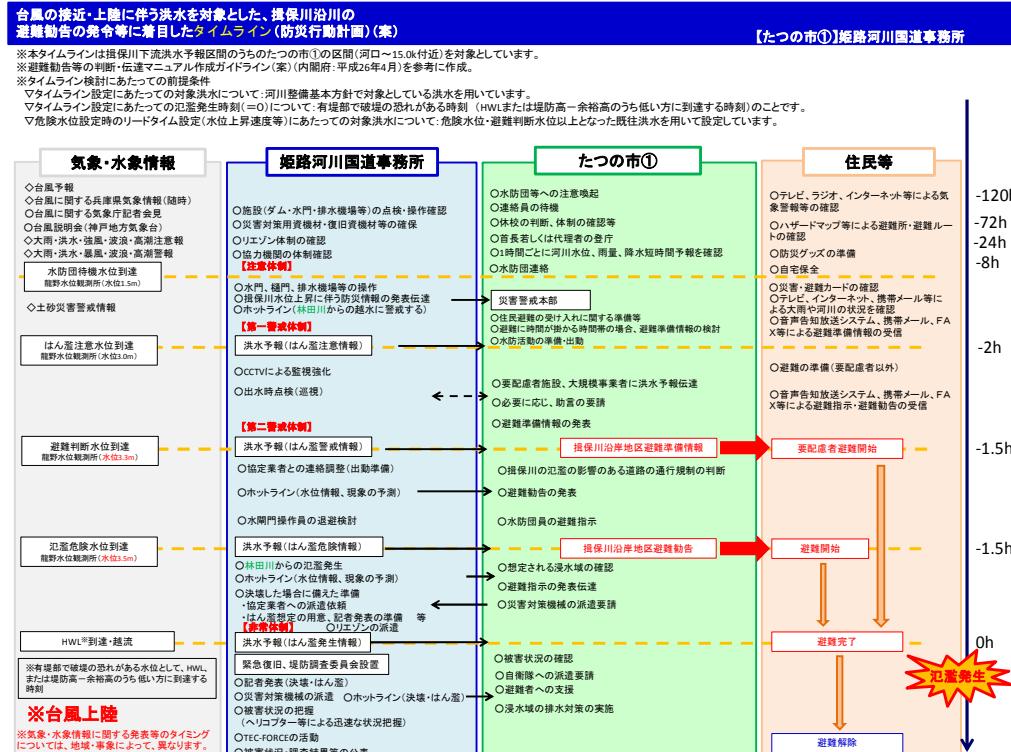


タイムライン検討会について

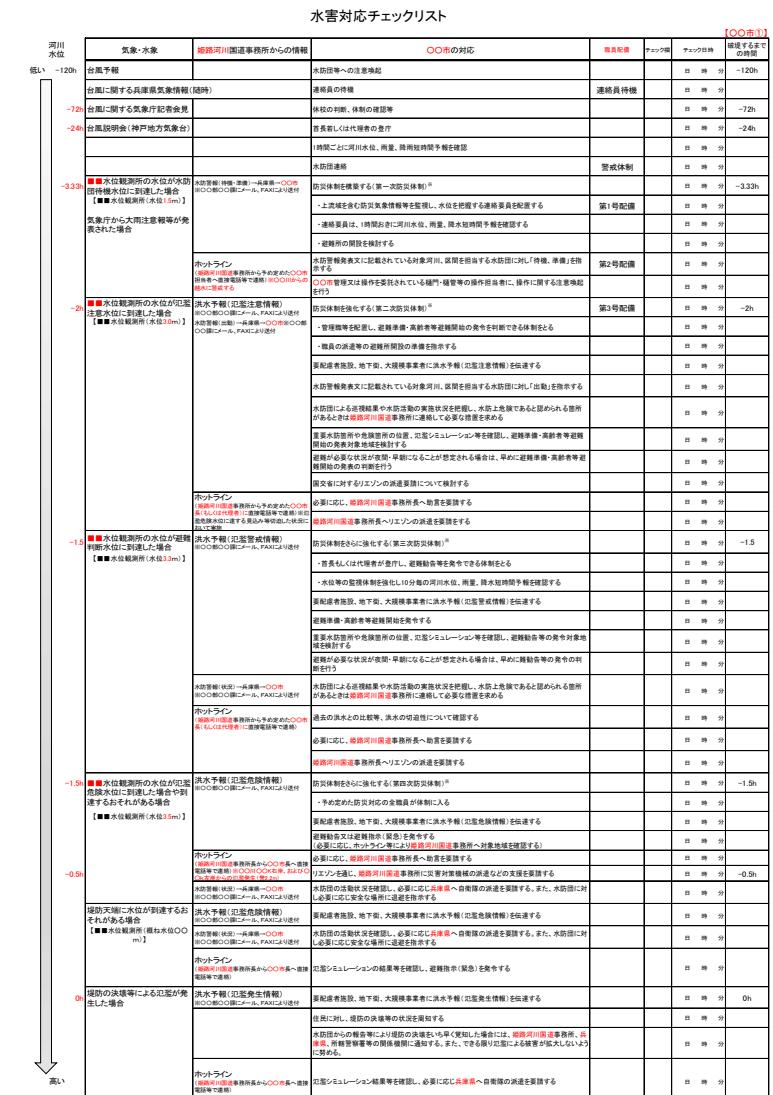
ソフト対策：タイムライン（案）の検証、及び改善

- タイムライン（簡易版）について、実用性を踏まえ、チェックリスト方式の様式を検討した。
- 今後、関係機関等とタイムライン検討会を行い、さらに効果的なツールとして更新する予定。

現在のタイムライン（簡易版）



チェックリストの要素を加えたタイムライン



ソフト対策：タイムライン（案）の検証、及び改善

資料3-2

タイムライン検討会では、事例のように複合的な要素を取り入れ、参加機関が必要な行動が市民に共有できるタイムラインを検討する予定。

【石狩川における事例】

タイムライン(試行用完成版)の読み方・見方①

- ①滝川市を運用主体とし、関係機関・団体・組織（以下、関係機関）との連携を示したタイムラインとした。
 - ②危険度や防災対応行動に準じて「タイムラインの対応レベル（以下、TLレベル）」を5段階に設定した。
 - ③試行・運用時には、タイムライン運用連携会議（仮称）を開催し、TLレベルの立ち上げ・移行及び今後の対応方針を調整する。
 - ④防災行動は、「主な対応」「行動項目」「行動細目」の3階層の内容に分け、「備考」に補足説明を記載した。
 - ⑤関係機関・組織内で完結する行動項目及び、各主体の具体的な行動（点検や調達等）は、各主体のマニュアルや計画で対応する。

タイムライン（試行用完成版）からの抜粋

ソフト対策：タイムライン（案）の検証、及び改善

資料3-2

タイムライン検討会では、事例のように複合的な要素を取り入れ、参加機関が必要な行動が市民に共有できるタイムラインを検討する予定。

【石狩川における事例】

タイムライン(試行用完成版)の読み方・見方②

- ・情報に関する項目について、◎は「情報等の発信元となる主体」　○は「情報等を受信し、伝達する主体」
△は「情報を受け取る主体」を示す。
 - ・防災行動に関する項目について、●は「行動の中心になる主体」　▲は「行動の補助、支援する主体」を示す。

【情報に関する項目】◎：情報等の発信元となる主体

○：情報等を受信し、伝達する主体

△: 情報を受け取る主体

【行動に関する項目】●：行動の中心になる主体

▲：行動の補助、支援する主体

石狩川流域地区水害タイムライン(試行用完成版)

- ・黒文字：現行計画等に記載のある防災行動
- ・青文字：本適用までに実施を目指す防災行動
- ・赤文字：引き続き検討が必要とした防災行動

【行動に
關する項目】①：情報等の發信元となる主体
②：情報等を受信し、伝達する主体
③：情報を受け取る主体

項目】 ●：行動の中心になる主体
▲：行動の補助、支援する主体

各機関の役割を印により区分